



山本芳照議員

職員のあいさつ運動の結果 どんな成果があったのか

問

職員のあいさつ運動の結果、どんな成果があったか。

市民から一定評価を得たと思う

答 市長

私は就任以来「市役所とは、市民のために役に立つ所・でなければならぬ」と、職員の意識改革を常に求めてきた。意識改革の基本は、あいさつにあると思う。

運動という大それたことはしていないが、市民から

(職員の意識向上に)一定評価を得ていると思っている。

金魚等のブランドを守る方策は

問

特産品の米、金魚、文鳥

の今後の取り組みを聞く。
(1) 市のブランド商品を守ることは、大変重要なことではないか。

(2) 愛西市にある佐屋高校は、アヒルを使って米づく



23年度から観光課でPRしたい

答 市長

(1) 今、地場産業や歴史をPRする課が、各所管にまがっている。

23年度からの組織改編で観光課を設け、各方面で活動している団体等とも連携しながら市をPRしていきたい。

答 農政課長

(2) 金魚、文鳥の担い手育成や後継者不足に関心を持ってもらうよう、今後、同校と協議したい。

問

再任用職員は、1年くらいの短期間で異動が発生している。経験を十分生かして活用すべきではないか。

例えば「コミュニティ推進協議会」以下「コミニ」に組

み入れてはどうか。

答 総務部長

22年度、定年退職した職員を、十四山地区コミ事務局として、兼務で任命している。

再任用については、適材適所の人事配置に努めていきたい。コミ事務局の兼務も視野に入れ、23年度も考えていきたい。

職員の提案制度の環境づくりを

問

職員の提案制度の取り組みについて、意見を出しやすい環境づくりが一番大事だろうと思うがどうか。

実施要綱策定を進めている

答 総務部長

提案制度の実施要綱を定めるよう、事務的に準備を進めている。